

津波等浸水深シール イラストコンクール 最優秀賞

市は、南海トラフ大地震による津波や大雨による洪水・河川氾濫などで、浸水する危険性を知らせる「津波等浸水深シール」を作成するため、使用するイラストを市内小学校の4、6年生から募集しました。

応募数244点の中から蔵本尊垂くん（玖波小6年※表彰当時）の作品が最優秀賞に選ばれ、3月24日に市長から賞状が手渡されました。



賞状と作品を手に、蔵本さん親子。

シールは避難場所となつていく予定の公共施設に表示していく予定です。

※津波浸水深とは、南海トラフ大地震が起こった場合で、堤防が機能しなかったとき、その場所が津波によって浸水する深さのことです。

災害時の避難場所・避難所の指定を見直しました

問い合わせ 危機管理課 ☎59-2119

令和2年版の「大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧(A3版黄色)」を今月号と一緒に配布しています。

なお、災害の状況や避難の実情に合わせて一部見直しを行い、変更しました。

変更点

- 玖波地区の第1次避難場所「玖波公民館」→玖波小学校（校舎内）
 - 大竹地区の第1次避難場所「大竹会館」→郷水会館
 - 大竹会館改築工事に伴い9月から令和3年2月までの間変更。
 - 「コミュニティサロン元町」と「コミュニティサロン玖波」を第3次避難場所に変更。
 - 他機関および地域で管理する避難場所に「コミュニティサロン栄町」「弥栄ダム管理所」を追加。
- お住まいの地域の避難場所を確認し、対応する災害や開設されるタイミングを今一度しっかり確認してください。



第1次避難場所が玖波小学校に。



大竹会館改築工事で9月から令和3年2月まで、大竹会館に隣接する郷水会館が第1次避難場所に。

市の防災情報等メールに登録を

大竹市からの防災情報、気象情報、防犯その他お知らせ情報（任意）をメールで受け取れます。

登録の手順

- ①右のQRコードを読み取り、空メール（件名・本文不要）を送信してください。
- ②数分以内に、登録用URLが記載されたメールが届きますので、アドレスをクリックしてください。
- ③配信を希望する情報を選択して「次へ」を押します。
- ④入力内容を確認し、「登録」を押します。
- ⑤登録完了です。数分以内に、登録完了のお知らせメールが届きます。登録できない場合は、パソコンなどからのメール受信を拒否する「迷惑メール防止機能」が設定されている場合があります。



登録用QRコード

※コードの読み取りができない方は、bousai.otake-city@raidai.ktaiwork.jp宛てに空メールを送信してください。



防災行政無線 テレフォンサービス

☎0120-590-131【無料】

防災行政無線が聞き取れなかった場合は、次の番号に電話をしてください。防災行政無線で放送した内容を聞くことができます。メールと併せて活用してください。

「メール防止機能」が設定されている場合があります。

otake-city@raidai.ktaiwork.jpからのメールを受信できるように設定してください。

令和2年度の予算が、3月議会で議決されました。過去最高の予算規模で臨むまちづくり。将来の大竹市のために、今年度できることへの思いを予算に込めました。

当初予算の基本的方向

令和2年度予算は、わがまちプランに掲げる「よいまち」の実現に向けて、地方創生事業の推進を目的とする、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するための事業を盛り込んでいます。

わがまちプランでは、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をテーマに、笑顔や元気があふれる大竹市になるよう、6つの基本目標を定めています。

- ①大竹を愛する人づくり
- ②生活基盤が整ったまち
- ③安全なまち
- ④安心できるまち
- ⑤心にゆとりを感じるまち
- ⑥行政・社会の仕組みづくり

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、

- 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

令和2年度当初予算成立

一般・特別

会計総額248億8812万円のまちづくり

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121



○誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる地域を実現するを基本目標としています。

これらの計画に基づき、一步一步進んでいくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。

当初予算の概要 【一般会計・特別会計】

一般会計は、前年度当初予算と比べ18.7%増の177億9365万円で、過去最大の予算規模となっています。継続して進めている本庁舎耐震改修事業、市立保育所等整備事業、大竹駅周辺整備事業、大竹会館改築等事業などの普通建設事業の本格化が要因です。

歳出は、大規模な普通建設事業のある民生費や教育費などが増加し、可燃ごみ広域処理中継施設整備事業が完了した衛生費などは減少しています。

歳入は、普通建設事業費の増加に伴い、その財源となる国庫支出金や基金繰入金、市債が増加しています。市税は、個人市民税や軽自動車税の増加はあるものの、法人市民税や固定資産税の減少により、全体では減少する見込みです。

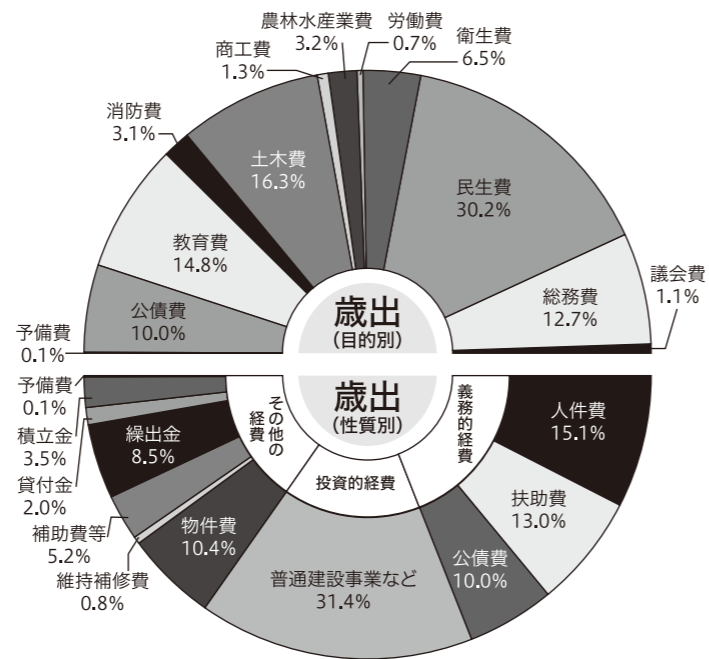
7つの特別会計の合計は、70億9447万円で、前年度と比べると2.5%減少しています。

【10、11ページ参照】

歳出（目的別）

項目	内容	令和2年度 ()は元年度 177億9,365万円 (149億9,219万円)	前年度比 (%) 18.7
議会費	議会の活動にかかる経費	1億8,843万円 (1億8,832万円)	0.1
総務費	市の一般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	22億6,585万円 (20億8,095万円)	8.9
民生費	生活保護や児童・高齢者などの経費	53億7,140万円 (44億5,774万円)	20.5
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	11億6,511万円 (14億9,776万円)	▲22.2
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,010万円 (1億2,010万円)	0.0
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	5億7,766万円 (2億8,445万円)	103.1
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億2,439万円 (2億4,163万円)	▲7.1
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	28億9,671万円 (25億8,515万円)	12.1
消防費	消防・救急業務や災害対策の経費	5億6,030万円 (6億467万円)	▲7.3
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	26億2,716万円 (10億4,406万円)	151.6
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	0.5万円 (0.5万円)	0.0
公債費	過去の借入金の返済金	17億7,653万円 (18億6,735万円)	▲4.9
予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※災害復旧費は名目のみ予算計上（1万円未満のため千円単位まで表示）しています。



歳出（性質別）

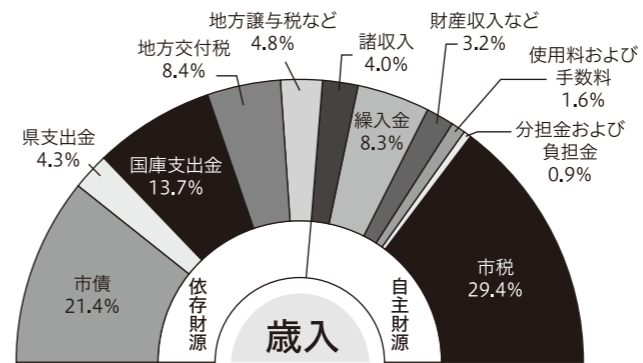
項目	内容	令和2年度 ()は元年度 177億9,365万円 (149億9,219万円)	前年度比 (%) 18.7
義務的経費	人件費	26億8,544万円 (24億3,089万円)	10.5
	扶助費	23億777万円 (22億1,713万円)	4.1
	公債費	17億7,653万円 (18億6,735万円)	▲4.9
投資的経費	普通建設事業費	55億8,912万円 (30億7,865万円)	81.5
	災害復旧事業費	0.5万円 (0.5万円)	0.0
	物件費	18億5,603万円 (19億4,368万円)	▲4.5
その他の経費	維持補修費	1億4,726万円 (1億3,168万円)	11.8
	補助費等	9億3,279万円 (9億4,933万円)	▲1.7
	繰出金	15億1,754万円 (15億571万円)	0.8
	貸付金	3億4,954万円 (3億5,083万円)	▲0.4
	積立金	6億1,162万円 (4億9,693万円)	23.1
	予備費	2,000万円 (2,000万円)	0.0

令和2年度当初予算成立

一般特別会計 総額248億8812万円のまちづくり

加えて、これからの大竹のまちの将来像を描く「まちづくり基本構想」の策定も進めています。
 ◎大規模事業のために予算が膨らむということは、借金も増えるということじゃないでしょうか。
 Aもちろん、市税だけで賄える事業ではありません。そのための借金ですが、アンテナを高く張り、有利で新たな制度を利用するようにしています。単なる借金というのではなく、借りた額の6割以上は国からの地方交付税に算入されるもの

です。また、借りるだけでなく、将来のために基金という貯金も積み立てています。今年度は、これまでの継続事業が形として見えてくる予算と言えるでしょう。
 ◎新型コロナウイルスへの対応は、どのようになっていますか。
 A現在、感染症が全国的に広がっていますが、当初予算にはそれに対応した予算は含まれていません。国や県の動向を注視しながら、対策をとっていきたく考えています。



歳入

項目	内容	令和2年度 ()は元年度 177億9,365万円 (149億9,219万円)	前年度比 (%) 18.7
自主財源	市税	52億3,813万円 (53億9,067万円)	▲2.8
	分担金および負担金	1億5,497万円 (1億6,597万円)	▲6.6
	使用料および手数料	2億8,859万円 (2億9,307万円)	▲1.5
	財産収入など	5億6,678万円 (3億4,470万円)	64.4
	繰入金	14億7,340万円 (10億7,468万円)	37.1
	諸収入	7億1,862万円 (6億4,150万円)	12.0
	地方譲与税など	8億4,513万円 (7億3,640万円)	14.8
	地方交付税	14億8,830万円 (14億7,473万円)	0.9
	国庫支出金	24億4,699万円 (21億3,156万円)	14.8
	県支出金	7億5,914万円 (7億5,131万円)	1.0
市債	38億1,360万円 (19億8,760万円)	91.9	

今年度予算は、一般会計で18.7%の伸びという大幅な増となっております。平成3年度以降を見ても一番の伸び率です。これは市の課題に取り組んできた事業が本格化してきたことを意味します。具体的には、現在

◎そのほかにも、ポイントとして挙げられるものはありますか。
 A防災対策にも力を注げるような予算を組みました。市内の河川を調査し、洪水などを防ぐため土砂を取り除く工事を行う予定です。

令和2年度会計別予算

名称	令和2年度	令和元年度	対前年度比 (%)
一般会計	177億9,365万円	149億9,219万円	18.7
特別会計	70億9,447万円	72億7,924万円	▲2.5
国民健康保険	32億3,866万円	36億628万円	▲10.2
漁業集落排水	3,389万円	3,460万円	▲2.1
農業集落排水	4,824万円	4,762万円	1.3
港湾施設管理受託	6,739万円	6,552万円	2.9
土地造成	2億9,238万円	2億9,333万円	▲0.3
介護保険	29億700万円	27億5,347万円	5.6
後期高齢者医療	5億691万円	4億7,842万円	6.0
合計	248億8,812万円	222億7,143万円	11.7

企業会計

名称	区分	令和2年度	令和元年度	対前年度比 (%)	
水道事業会計	収益的	収入	5億5,910万円	5億5,397万円	0.9
		支出	5億5,778万円	5億4,725万円	1.9
	資本的	収入	1億3,985万円	7,133万円	96.1
		支出	3億5,418万円	2億3,092万円	53.4
工業用水道事業会計	収益的	収入	5億5,236万円	5億5,526万円	▲0.5
		支出	4億7,106万円	4億8,483万円	▲2.8
	資本的	収入	1億9,270万円	2億3,216万円	▲17.0
		支出	4億9,287万円	5億3,571万円	▲8.0
公共下水道事業会計	収益的	収入	10億394万円	9億9,978万円	0.4
		支出	9億9,642万円	9億6,097万円	3.7
	資本的	収入	5億7,531万円	3億9,687万円	45.0
		支出	7億2,234万円	5億8,707万円	23.0

用語解説

【一般会計・特別会計】
 地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を一般会計といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を特別会計という。
 【歳入・歳出】
 地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。
 【自主財源・依存財源】
 市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したものの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。
 【性質別歳出】
 市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、その他のほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。
 【目的別歳出】
 市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

予算書を販売しています

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

予算書(A4版352ページ)は、1,000円で、企画財政課、各支所で販売しています。(当初予算の概要は無料で配布しています)
 市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)、市ホームページでもご覧いただけます。

(消費税込み1,000円)





4 安心できるまち

- 利用者支援事業(ネウボラ)(新規)／783万円
 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う仕組み(=ネウボラ)を構築し、令和2年度から実施します。
 大竹市のネウボラは、市役所保健医療課に母子保健コーディネーター(保健師など)、子育て支援センターどんぐりHOUSEに子育て支援コーディネーター(利用者支援員=専門研修を受けた保育士)を配置し、相互に連携しながら相談・支援・関係機関との連絡調整などを行います。
- 市立保育所等整備事業(拡充)／7億5,905万円
 市役所本庁舎敷地内に保育施設と子育て支援関連施設を整備します。
 保育施設は、なかはま保育所と立戸保育所を統合移転し、子育て支援関連施設には子育て支援センター(どんぐりHOUSE)を移転するほか、乳幼児健診などの母子保健事業も実施できる施設とします。
 令和4年度の開設に向け、令和2年度に建設工事に着手します。
- がん検診(胃内視鏡検査)事業(新規)／442万円
 胃がん検診を、これまでのバリウムを用いて行うエックス線検査に加えて、内視鏡検査も実施できるよう体制を整えます。



市役所横に保育施設や子育て支援関連の施設を建設



「まちづくり基本構想」策定のため、市民による「おおたけ未来創造会議」を開催。まちの魅力や将来像について、ひざを交えて話し合いました。



小学生たちが20年後、30年後の大竹に夢を託し、色とりどりの「こいのぼり」を描きました。2月には、応募作品を総合市民会館に展示。お孫さんの絵を見つけてうれしそうです。作品は「まちづくり基本構想」に掲載します。



5 心にゆとりを感じるまち

- 大竹会館改築等事業(拡充)／16億3,300万円
 公共施設の規模適正化および防災機能の強化、利用者の利便性の向上のため、耐震性に問題のある旧館と、新館(エスポワール)を解体します。大竹警察署側に新築棟を増築し、アゼリアホールも一部改修します。令和元年度に引き続き工事を進め、令和2年度に完了する予定です。



現在工事中の大竹会館。アゼリアホールに連結する新築棟は、市民活動拠点・支所・公民館・防災機能などをコンパクトに集約した施設となります。



6 行政・社会の仕組みづくり

- まちづくり基本構想等策定事業／1,599万円
 市の将来像を示し、まちづくりや行政運営の指針としている現行の第五次総合計画(わがまちプラン)は令和2年度末に目標年度を迎えます。これからのまちづくりの基本理念や将来像、その実現のための施策体系や方向性を示す新たな計画(大竹市まちづくり基本構想およびその関連計画)を令和2年度中に策定します。



1 大竹を愛する人づくり

- 児童・生徒用コンピュータ整備事業(新規)／1,029万円
 文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の実現に向けて、令和5年度までに児童・生徒が1人1台の学習用コンピュータを持ち、授業などで十分に活用できる環境整備をめざします。



西口交流広場からの外観



東口交通広場からの外観



2 生活基盤が整ったまち

- コンビニ及びスマホ収納導入事業(新規)／350万円
 納付機会を拡大することにより、市民の利便性および収納率を向上させるため、市税、使用料、保険料などをコンビニエンスストアやスマートフォンで納付できるようにします。
 令和3年度の開始に向け、令和2年度はシステム環境の構築や各種テストを行います。
- 大竹駅周辺整備事業(拡充)／9億656万円
 鉄道施設に関する工事の実施協定を平成30年12月に鉄道事業者と締結し、平成30年度から令和5年度までで総額39億2千万円の継続費を設定しました。
 令和2年度は自由通路や橋上駅の本体工事に着手します。
 令和4年度末に橋上駅の開業と自由通路の供用開始、令和5年度末に東西広場が完成する予定です。
- 晴海臨海公園整備事業／6,750万円
 子どもから高齢者まで幅広い世代の憩いの場となる公園整備を進めています。
 令和2年度は、多目的グラウンド(西側ゾーン)の雨水処理をするための雨水排水管整備や、園路を整備します。



現在、耐震改修工事中の市役所。工事のため事務室が移動し、ご不便をおかけしています。



3 安全なまち

- 一般河川(水路)浚渫事業(新規)／1億4,000万円
 河川の流下能力を確保し災害を未然に防ぐために、河川に堆積した土砂の浚渫工事を進めます。
 令和2年度は、市内の河川(水路)の堆積土量を調査し、優先度の高い河川(水路)の浚渫工事を進めます。
- 本庁舎耐震改修事業／4億850万円
 築後約40年が経過し、耐震性に問題をかかえる本庁舎に防災拠点としての機能を確保するために、耐震補強の改修工事を平成30年度から行っています。令和2年度に完了する予定です。



大竹市の未来への希望を表現しているかのよう
 な「明」のモニュメント。力強い息吹を感じます。
 (さかえ公園)



財政担当タムラさん
 イチオシの事業の数々。